

学校名	菅平小学校	
ホームページURL http://www.sanada-j.ed.jp/sugadaira/index.html	児童・生徒数 113名	
(1) テーマ 「菅平の水」 テーマの分類 (①ーウ, ③) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 6 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ①地球上に残された「水」(真水)の大切さを知る。 ②水と共に命を育んでいる生物の存在と尊さ、生活の厳しさを知る。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ●学級一斉…人間にとって必要な水について学習する。 (水中生物の種類、地球上にある真水、河川や下水の処理のシステムなど) ●個別またはグループ別…①菅平の水について自分が深めたいテーマを決める。②テーマに基づいての観察実験、調査を行う。③紙上を中心としたまとめを行う。④友達のまとめを参考に、再度テーマを決める。⑤観察実験、調査を深める。⑥紙上に再びまとめを行い、発表し合う。 時数 (12)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・学級担任による指導。 ・校外周辺にある小川や沼地での、活動範囲を決める。 ・地域の森林自然指導員の協力を求める。(本年度は「水」についての関わりはなかった。)		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・水辺の生物採集は、必要最小限の量にさせる。 ・実験器具は一斉に、扱い方や役割などを事前に知らせる。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・数値の評価はしない。 ・所見として、更に深めたい点や別の視点を示す。		
(8) 成果と課題 ※子どもの活動テーマ例…水辺の微生物の種類。水中生物の食べ物。小川にあるゴミはどこから来たのか。川の周りの植物の種類。オタマジャクシの生活。など。 ・自発的に協力したり、実験を進めたり手伝う姿が見られた。 ・人間との関わり(水道料、校内の水道の様子、節水など)について深めさせたかったが、終始理料的な追究となってしまった。		

※テーマの分類 ①横断的・総合的な課題 (①ーア 国際理解 ①ーイ 情報 ①ーウ 環境 ①ーエ 福祉・健康 ①ーオ その他) ②児童生徒の興味・関心に基づく課題 ③地域や学校の特色に応じた課題